

基礎データ	人口	3,641万人(2022年)	日本との関係	日系企業数	110社(2022年)
	名目GDP	1兆1,086億米ドル(2022年)		在留邦人数	628人(2023年)
	1人当たりGDP	30,448米ドル(2022年)		日本食レストラン数	150店(2023年)
	名目GDP成長率	8.7%(2022年)			

1

市場の特性と消費の動向

国民が若く、アジア系の労働者が多い

A 市場の特性

サウジアラビアの人口は3,641万人で、24歳までの人口が39%、54歳以下が92%となっており、若者が多い国です。健康志向が高まり、健康的な食品や欧米ブランドの食品を好む層も増えているようです。総人口の58%がサウジアラビア人で、残りは外国籍の居住者です。外国人の多くは、故郷に家族を持つアジア諸国(バングラデシュ、インド、フィリピン等)や中東諸国(イエメン、エジプト、シリア等)出身の男性労働者です。都市部の人口が84%と多いのも特徴となっています。

また、サウジアラビアは世界有数の観光立国であり、コロナ禍の影響で減少しましたが、2022年の観光客は1,660万人とほぼ平年並みに回復しました。

サウジアラビアのGDPについては2022年に史上初めて1兆米ドルを超え、アラブ地域で最大の経済大国となっています。

コメの生産はなく、消費量は全て輸入で賄っています。若者が多く、コメを主食とする外国人が多いため、長粒種を中心に様々な品種が好まれます。短粒種の消費量は少なく、主に米国やオーストラリア、欧州諸国から輸入しています。

B 消費の動向

コメは主食として低所得層から高所得層まで広く消費され、様々な種類のコメが市場に出回っています。

一般的な料理には、長粒種のバスマティ米が最も好まれますが、その他にもパーボイルド米や中粒種も流通しています。コメの消費量は特にUmrah(ウムラ)やHajj(ハッジ)などのイスラム教の巡礼シーズンに増加する傾向があります。この期間には、海外から観光客が巡礼のためにサウジアラビアを訪れ、コメの需要が高まります。サウジアラビアの消費者の多くは熟成したバスマティ米を好み、新米を数か月間保存して熟成させることで、ふっくらとした食感や香りが引き立ち、炊き上がりの食味が向上すると言われています。

中・短粒種は南部でカブサ料理(祝い事でよく食べられるアラブ伝統の炊き込みご飯)に使用されますが、西洋(地中海)料理や日本料理にも一部で使われる傾向が見られます。

また、サウジアラビアは日本からの米菓の輸出先として第5位(2023年、金額ベース)となっており、米菓がサウジアラビアの生活に一定程度定着していることが分かります。

表-1 コメの生産・消費・輸出入の状況

MY(7月~翌6月)	2021	2022	2023
生産量(千トン)	0	0	0
消費量(千トン)	1,300	1,350	1,400
輸出量(千トン)	0	0	0
輸入量(千トン)	1,324	1,400	1,400

(出典)USDA(精米ベース) 2024年1月30日時点

表-2 日本からのコメの輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	0	2	9
輸出単価(円/kg)	0	684	421

表-3 日本からの米菓の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	380	462	273
輸出単価(円/kg)	663	779	964

表-4 日本からの包装米飯等の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	0	0	0.3
輸出単価(円/kg)	0	0	2,179

(出典)財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く) 2024年1月30日時点

コメの主な輸入先国・地域

インド、パキスタン、米国、オーストラリア、ベトナム、タイ、ブラジル、カンボジア

2

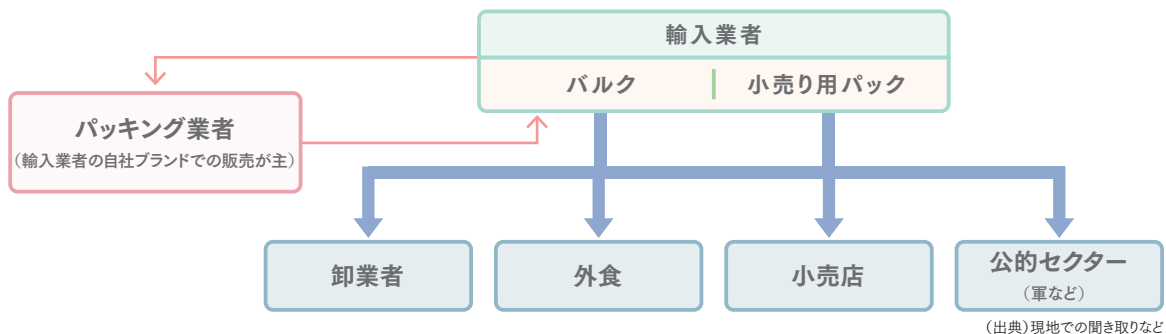
流通チャネルと取引慣行

輸入は自由だが、有力な輸入業者は数社程度

A 日本産米の流通経路

サウジアラビアではコメの輸入は自由であり、数多くの民間企業がコメを輸入しています。ただし、有力な輸入業者は数社程度であると見られています。さらに、食料安全保障を目的にサウジアラビア穀物機構(SAGO)が有力な輸入業者に対して、在庫の確保(約10か月分)を推奨しています。なお、中・短粒種においてはその限りではありません。

なお、インタビューによれば、各段階におけるそれぞれのマージン(利益幅)は輸入業者約7～8%、卸業者約2～3%、小売業者約10～12%となっています。



B 取引慣行

サウジアラビアでは、通常、コメはバルクで輸入され、輸入業者がこれを自社ブランドに包装して国内に流通しています。国内でのコメの流通において国立銀行が大きな役割を果たしています。コメが主食であるため、国立銀行は貨物の代金決済代理や低利融資等を通じて、輸入業者に十分な量の輸入を促しています。リヤド銀行やサウジアラビア国立銀行は輸入するコメの代金決済を代行し、輸入業者から入金があればコメの所有権を引き渡すといったやり方を行っています。

なお、Mayar Foods社、Abdul Rahman (Al Shalan) 社及びOKAM社は主要なコメの輸入業者であり、これらの企業は主に長粒種をインドから輸入していますが、中粒種のコメも輸入しています。

3

関税割当枠と関税

コメの輸入関税は無税だが、その他のコメ加工品には関税がかかる

■ 関税割当枠

コメ、包装米飯、米菓のいずれも関税割当枠の設定はありません。

■ 関税

コメの輸入は無税ですが、その他のコメ加工品に対して関税がかかります。なお、輸入後(販売時)に15%の付加価値税(VAT)が課されます。

精米(HSコード 1006.30) 税率	無税
玄米(HSコード1006.20) 税率	無税
包装米飯(HSコード 1904.90) 税率	5%
米菓(HSコード 1905.90.99) 税率	10%

コメの輸出には植物検疫証明書が必要

A 検疫制度

輸入業者は事前にオンラインのSaberプラットフォームで、製品情報などの必要情報を入力、登録審査を申請します。入力内容に基づき、システム上で輸入可否や輸入規制・条件、船積前検査の要否が判定されます。また、日本からの植物検疫証明書の取得が必要となります。

なお、コメについては必要ありませんが、食肉及び家禽類の派生品を含む商品の場合、ハラール証明書が必要になります。

B 食品規制

■ 製品表示の内容

サウジアラビア国内で販売される包装済みの食品は、原則はアラビア語で記載されたラベルを包装または容器の目立つ位置に貼り付けなければなりません。ラベルの表示に関しては、湾岸協力会議標準化機構(GSO)の定める規格「GSO 9:2022包装食品のラベル表示」の要件に従う必要があります。

- a. 商品名
- b. 製品の名称(食品の説明の要約)
- c. 原材料と原材料別正味重量(含有重量/容量の大きい順)
 - ❖アレルギー物質(グルテン成分を含有する穀物、甲殻類、ゴマ種子など)が含まれる場合は成分の中に記載
- d. 製造者、梱包者、流通者、または輸入者の社名及び住所
- e. 製造日、賞味期限(コメは賞味期限記載は免除)
- f. 原産国名
- g. 製品のバーコード
- h. ロット番号
- i. 保存方法(該当する場合)
- j. 調理方法(該当する場合)
- k. 栄養表示(熱量、タンパク質、炭水化物(食物繊維、糖類)、脂質、飽和脂肪酸、トランス脂肪酸、コレステロール、ナトリウム、ビタミン、ミネラル)

■ 残留農薬基準

「農産物及び食品への残留農薬の最大許容量(Maximum Limit of Pesticides in Agricultural and Food Products)」によって規制されています。

■ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連した輸入規制

2017年11月21日、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う日本産食品の輸入規制は撤廃されました。

5

小売店の店頭価格

日本産米はオンラインでのみ取り扱い、価格帯は欧州産と同様

A コメの販売価格

日本産米は調査したスーパー等の実店舗では取扱いがなく、オンラインでのみ販売されていました。価格帯はイタリア産よりやや高めて、米国産の約4倍で販売されていました。

表-5 コメの販売価格(調査月:2023年7月)

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (リヤル)	販売単位での 円換算*
Hafel Egyptian Camoleno Rice	エジプト	5 kg	41.0	1,582
Vignola Rios Arboria	イタリア	1 kg	40.0	1,544
Scotti Carnaroli Rice	イタリア	1 kg	27.5	1,061
Ubara Sushi Rice	日本	5 kg	272.0	10,495
Kyoto Tango Koshihikari	日本	5 kg	249.0	9,608
Abu Bint Calrose Rice	米国	1 kg	10.3	396
Primoriso Arborio Rice	タイ	1 kg	39.1	1,509

B 包装米飯の販売価格

サウジアラビアでは、コメは一般的に家で炊かれるものとされ、日本のような包装米飯は普及していません。味の付いたレトルトタイプのインスタントライスについては、一部のスーパーやオンラインで販売されています。

表-6 米菓の販売価格(調査月:2023年8月)

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (リヤル)	販売単位での 円換算*
Kameda Soft Salad	日本	140g	105.0	4,052
Nori Maki Arare / Kaki no Tane	日本	130g × 2	58.0	2,238
Kameda Age Ichiban	日本	138g	58.0	2,238
Shirakiku Japanese Nori Maki Arare	日本	85g	60.0	2,315
Kameda Potapota Yaki	日本	137g × 3	104.0	4,013

*1サウジアラビアリヤル= 38.59円換算

C 米菓の販売価格

サウジアラビアでは、ナッツやデーツなどのスナックをつまむ文化が根付いており、これらのスナックと一緒に米菓が量り売りされる店がよく見られます。オンラインで購入できる日本の袋入りの米菓は数種類のブランドがありますが、販売数が少ないため、スポット的な輸入である可能性もあります。

6

インターネット販売の実態

サウジアラビアのインターネット販売額は2023年までに100億米ドルに達し、これによりベルギーを抜いて第28位のEC市場となる見込みです。成長率は年率13.5%であり、2027年までには167億米ドルまで拡大すると予測されます。その中で、食品・飲料のEC市場は2023年までに3.7億米ドルに達し、EC総売上高の4%を占めています。コロナ禍の影響もあるものの、高いインターネットの普及率により、食料品のオンラインショッピングへのシフトが進んでいると見られます。

ECはニッチな市場にアクセス出来るため、日本産コメ・コメ加工品に新たな需要が生まれる可能性があります。現在、日本産コメ・コメ加工品を扱うサイトにはJapanese TasteとUbuyがあります。

主要ECサイト	URL
a. Amazon	https://www.amazon.sa
b. Carrefour	https://www.carrefourksa.com
c. Lulu	https://www.luluhypermarket.com
d. Kanbkam	https://supermarket.kanbkam.com
e. Ubuy	https://www.ubuy.com.sa
f. Japanese Taste	https://int.japanesetaste.com

サウジアラビアでは、主食として長粒種、特にバスマティ米が広く消費されており、中・短粒種は米国や欧州からの輸入が主流ですが、その市場規模は限定的です。また、多くのサウジアラビア人は、「日本産米は寿司に使う」というイメージを抱いています。

「日本産米は寿司に使う」というイメージが定着しているのであれば、それを活かして「寿司ならば日本産米」と言うことを、日本産米の優位性と合わせて寿司事業者に伝えて行くことが、日本産米の存在感の低い現在の市場においては重要です。